

---

# あなたといつも

聖闘士

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

あなたといつも

### 【Nコード】

N6113J

### 【作者名】

聖闘士

### 【あらすじ】

いつも一緒だった、あなたへ

私とあなたの思い出を覚えていますか？

あなたと私は、いつも一緒でした

生まれた家は隣同士

あなたは私より三つお姉さんで、幼い私をいつも引きずりまわして  
いました

泥だらけで家に帰って、お互いの家の親にこっぴどく怒られたこと  
を今でも覚えています

私が小学校に上がった時、あなたはとても喜んで、わざわざ休み時  
間になるたびに私の教室を訪ねてきましたね

私は少し恥ずかしかったけれど、それでもあなたが訪ねてきてくれ  
てすごく嬉しかった

私が中学校に入った時には、あなたとは入れ違いだったから学校で会うことはなくなっただけれども、放課後や休日は二人きりで良く遊びに行きましたね

それを見て周りの人たちに「まるで本当の姉弟みたい」と言われることが、私は少し誇らしく、少しさびしかった

「あなたとは釣り合わない」と言われているようで

私があなただの通っていた高校へ入学すると同時に、あなたは大学へと通うため東京で独り暮らしを始めました

それでもあなたは、休みのたびにこっちへ戻ってきて、私と一緒に過ごしてくれました

私はあなたとの関係がこのまま続いていくのだと、漠然と信じていました

私があなたと同じ大学へ合格して、あなたに内緒で家へ報告に行つた時、私は『彼』と出会いました

『彼』はあなたの恋人で

卒業と同時に結婚する予定なのだ

あなたは私にも見せてくれたことのない笑顔で、私に報告してくれました

『おめでと〜』

あの時の私は、ちゃんと笑えていましたか？

私はあなたの幸せを祝福します

あなたはいつでも優しくかった

あなたは私にとって、昔から良き姉であつたし、これからもそれは変わりません

そう・・・変わらないはずですよ

でも

この涙が止まらないのは、どうしてなのでしょう？

(後書き)

よろしければ、私の書いた他の詩も読んで頂けると嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6113j/>

---

あなたといつも

2010年10月11日13時27分発行